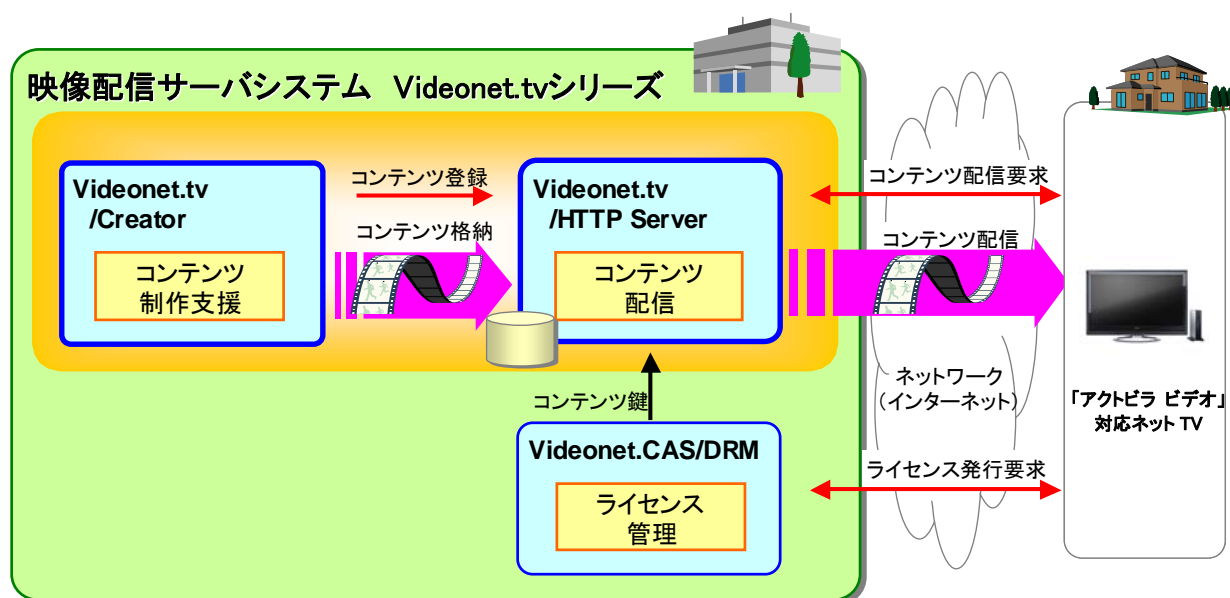


2008年6月5日  
株式会社日立製作所

## ネットTV向けHTTPストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」を販売開始 同時に業界で初めてネットTV向けコンテンツ自動生成を可能とした コンテンツ制作支援システムも提供開始



株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下 日立)は、このたび、ネットTV向け映像配信サーバシステム「Videonet.tv」シリーズの製品ラインアップに、ネットTV向けにビデオ・オン・デマンド(VOD)によるHTTPストリーミング<sup>(\*)1</sup>が可能なHTTPストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」、およびネットTV向けコンテンツ用としては業界で初めて<sup>(\*)2</sup>となるコンテンツ制作支援システム「Videonet.tv/Creator」を追加し、6月6日から販売を開始します。

\*1)HTTPストリーミング:HTTP(Hypertext Transfer Protocol)を用いてサーバから連続的にデータを転送することで、映像や音声配信する方式。受信側にてデータを受信しながら再生することが可能。

\*2)業界で初めて:ネットTV向けコンテンツの制作を支援するシステムとしてはIPTV業界初。(2008年6月 日立調べ)

「Videonet.tv/HTTP Server」および「Videonet.tv/Creator」は、日立が6月7日から開始するネットTV「Woo UT770シリーズ」向けのポータルサイト「Woonet」<sup>(\*)3</sup>における日立独自のサービス「ビデオ de メール」<sup>(\*)4</sup>の映像配信でも活用されます。

\*3)Woonet:「Woo UT770シリーズ」向けに楽しさを広げる各種サービスを日立が提供するポータルサイト。

\*4)ビデオ de メール:ビデオカメラやデジタルカメラで撮影した映像(動画・静止画)を、パソコンを使いサーバにアップロードすることで、送付先の「Woo UT770シリーズ」で手軽に見ることができる、日立が提供する有料ネット・サービス。

## ■新製品の特徴

### 1.HTTP ストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」

ブロードバンド回線でインターネット接続しているネット TV に、VOD による HTTP ストリーミングの配信が可能であり、デジタルテレビ情報化研究会<sup>(\*5)</sup>ストリーミング仕様に準拠し、現在国内唯一のインターネットを介したネット TV 向け映像配信サービスとして注目されている「アクトビラ ビデオ」<sup>(\*6)</sup>に対応したサーバシステムです。ユーザーの視聴リクエストの集中状況に応じて最適なストレージを選択して、そこからコンテンツを配信する自動負荷分散機能や、ストレージからのコンテンツ読み出しサイズ、読み出しサイクルの最適化機能により、大容量の映像を効率よく配信できます。

\*5)デジタルテレビ情報化研究会:通信サービスに対応したテレビが持つべき機能の検討を行う研究会。

デジタルテレビ情報化研究会URL <http://nw-dtv.jp/>

\*6)アクトビラ ビデオ:株式会社アクトビラが提供する、ブロードバンド回線でインターネットに接続されたネットTV向けVODの映像配信サービス。アクトビラURL <http://actvila.jp/>

### 2.コンテンツ制作支援システム「Videonet.tv/Creator」

コンテンツプロバイダーから提供されるコンテンツをネット TV へ配信するため、デジタルテレビ情報化研究会ストリーミング仕様のフォーマットへ変換するコンテンツ制作支援システムです。MPEG-2<sup>(\*7)</sup>及び H.264/AVC<sup>(\*8)</sup>の標準速度のコンテンツに加え、ネット TV 側での早送り、巻き戻し、一時停止、頭出しなどのトリックプレイをスムーズに実現する倍速コンテンツを生成します。配信コンテンツの生成や変換、登録などの一連の作業を自動化することで、従来手作業で行なっていた作業の負荷を大幅に軽減します。

\*7)MPEG-2:現在広く用いられている、動画画像情報の圧縮符号化方式の標準規格。

\*8)H.264/AVC:動画画像情報の圧縮符号化方式の標準規格。従来広く用いられてきたMPEG-2に比べ、同程度の画質であれば概ね半分程度のデータ量で済むよう改良されている。

さらに、既に提供を開始しているデジタルコンテンツ著作権保護システム「Videonet.CAS/DRM」を組み合わせることで、著作権を保護しながらネット TV へ映像配信することができます。

なお、6月11日～13日に幕張メッセで開催される Interop Tokyo 2008 の日立グループブースに、HTTP ストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」、コンテンツ制作支援システム「Videonet.tv/Creator」およびデジタルコンテンツ著作権保護システム「Videonet.CAS/DRM」を出展します。

■「Videonet.tv」シリーズ製品群の価格及び提供時期

製品名	価格	提供時期
HTTPストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」 ・ HTTP 配信基本プログラム ・ コンテンツ登録管理プログラム	788万円～ (税抜:750万円～)	2008年6月6日
コンテンツ制作支援システム「Videonet.tv/Creator」 ・ コンテンツ制作管理プログラム ・ コンテンツ制作端末プログラム	630万円～ (税抜:600万円～)	
デジタルコンテンツ著作権保護システム「Videonet.CAS/DRM」 ・ CAS/DRM 基本プログラム ・ Marlin 対応暗号化プログラム ・ 鍵更新通知プログラム	個別見積り	提供中

\*価格は、ハードウェアを除いたソフトウェアのみの金額。

■他社商標注記

記載の会社名、製品名、サービス名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■「Videonet.tv」ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/solution/ngn/videonet/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部  
 ソリューション本部 [担当:小西、一木]  
 〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890(日立システムプラザ新川崎)  
 電話:044-549-1430(ダイヤルイン)

以上

【添付別紙】

## 特長

### ■HTTP ストリーミングサーバシステム「Videonet.tv/HTTP Server」の主な特長

#### 1. HTTP ストリーミングの共通仕様に準拠

共通仕様としてデジタルテレビ情報化研究会ストリーミング仕様に準拠しており、ブロードバンド回線でインターネットに接続している「アクトビラ ビデオ」対応ネット TV 向けに VOD による HTTP ストリーミングの配信が可能です。今後は、現在策定中のダウンロード仕様についても対応した製品を提供する予定です。

#### 2. 大容量で大量の映像を高効率に配信

ユーザーの視聴リクエストの集中状況に応じて配信に最適なストレージを選択して、そこからコンテンツを配信することで、自動的に配信にかかる負荷を分散します。

また、ストレージからのコンテンツの読み出しサイズ、読み出しサイクルの最適化を行い、高効率なコンテンツ配信が可能です。

#### 3. 帯域・アクセス数などの過負荷を抑止

各サーバのリソースに合わせて CPU 使用率・ネットワークレート・セッション数、ストレージ毎のセッション数・I/O レートなどの制限を設定することで、帯域・アクセス数などの過負荷を抑止します。

#### 4. 全体的な配信レートやスケジュールに応じた配信レートの設定

ストリーミング配信、ダウンロード配信時の配信レートの上限値を配信方式ごとに設定でき、全体的な配信レートに応じたレート配分が可能です。

### ■コンテンツ制作支援システム「Videonet.tv/Creator」の主な特長

#### 1. 配信可能なフォーマットへの変換

コンテンツプロバイダーから提供されるコンテンツをネット TV へ配信するためのデジタルテレビ情報化研究会ストリーミング仕様のフォーマットへ変換します。

#### 2. ネットワークにおける伝送遅延を補正

ネット TV 側で再生タイミングを制御し、ネットワークにおける伝送遅延を補正して映像を再生するためのタイムスタンプを付与したコンテンツファイルを生成することができます。

#### 3. スムーズで高画質なトリックプレイ

MPEG-2 及び H.264/AVC の標準速度コンテンツの他に、倍速コンテンツを生成し、ネット TV 側でスムーズで高画質な早送り、巻き戻し、一時停止、頭出しなどのトリックプレイが可能です。

#### 4. 安全なコンテンツ配信(オプション)

第三者によるコンテンツの盗み見や改ざんを防止し、インターネットでも安全にコンテンツを配信するため、コンテンツを暗号化することが可能です。

本機能は、デジタルコンテンツ著作権保護システム「Videonet.CAS/DRM」の一部機能であり、基本構成にオプションとして追加が可能です。

#### 5. 簡易なユーザーインターフェース

GUI による直感的な操作でコンテンツ制作を行うことが可能です。

## 仕様

### ■ハードウェア仕様(推奨)

	サーバ(共通)	ストレージ
型式	HA8000/RS210	Hitachi AMS200
CPU	Xeon® 3.0GHz × 2 以上	—
メモリ	4Gbyte 以上	キャッシュ 2GByte
HDD	100Gbyte 以上	860GByte: FC(RAID5) (200 時間/10Mbps)

### ■「Videonet.tv/HTTP Server」のソフトウェア仕様

	内容	備考
配信プロトコル	HTTP/1.1	—
VOD 配信制御 同時接続数	最大 1,000	—
コンテンツ 登録管理数	最大 20,000 タイトル	—
配信性能	最大 5,000Mbps(参考値)	10Gbps の NIC 使用時の参考値
対応フォーマット	MPEG-2 TS、MPEG-2 TTS、 H.264/AVC TS、H.264/AVC TTS	—
ネットワーク	IPv4 / IPv6	同時運用可能

### ■「Videonet.tv/Creator」のソフトウェア仕様

	内容	備考
コンテンツ制作 端末プログラムの ライセンス数	1 ライセンス	基本ライセンス
生成可能な 倍速コンテンツ (等倍速含む)	最大 5 種類 (等倍速、5 倍速、10 倍速、 -5 倍速、-10 倍速)	4 種類以上同時に制作する場合、追加 ライセンスが必要
出力フォーマット	MPEG-2 TS、MPEG-2 TTS、 H.264/AVC TS、H.264/AVC TTS	—
ネットワーク	IPv4 / IPv6	—
その他	暗号化ライブラリ	オプションで追加可能

・Xeon は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---